

銀証ファイアーウォール規制に関する説明資料

－ 非上場法人・個人の取扱い、外務員資格に係る論点 －

2022年4月25日



企画委員長 伊藤 文彦

1 . 「新しい資本主義」の実現に向けて

2 . 銀証ファイアーウォール規制に係る具体的な論点例

- 事例1 : スタートアップ
- 事例2 : 事業再構築・再生
- 事例3 : 個人の資産形成
- 事例4 : エンジェル投資家
- 事例5 : 外務員資格登録

■ 「我が国企業のダイナミズムの復活、イノベーションの担い手であるスタートアップの徹底支援」

- お客様の課題：成長ステージに応じた多種多様な経営支援・リスクマネー供給・大企業などとの資本提携・M&A

➡ グループ横断的にチームアップし、お客様の成長ストーリーを共有しつつトータルな支援を実施したい
金融グループがエンジェル投資家とスタートアップ・非上場企業をつなぐリスクマネーの橋渡し役になれないか

■ ポストコロナの構造変化に対応するための「事業再構築・再生の環境整備」

- お客様の課題：経営課題・財務課題の抜本的な解決、財務に精通した人材の不足

➡ 難易度の高い経営課題や潜在的なニーズに対して、グループで連携してプロアクティブに解決策を提案したい

■ 「民間部門における中長期も含めた分配強化に向けた支援」

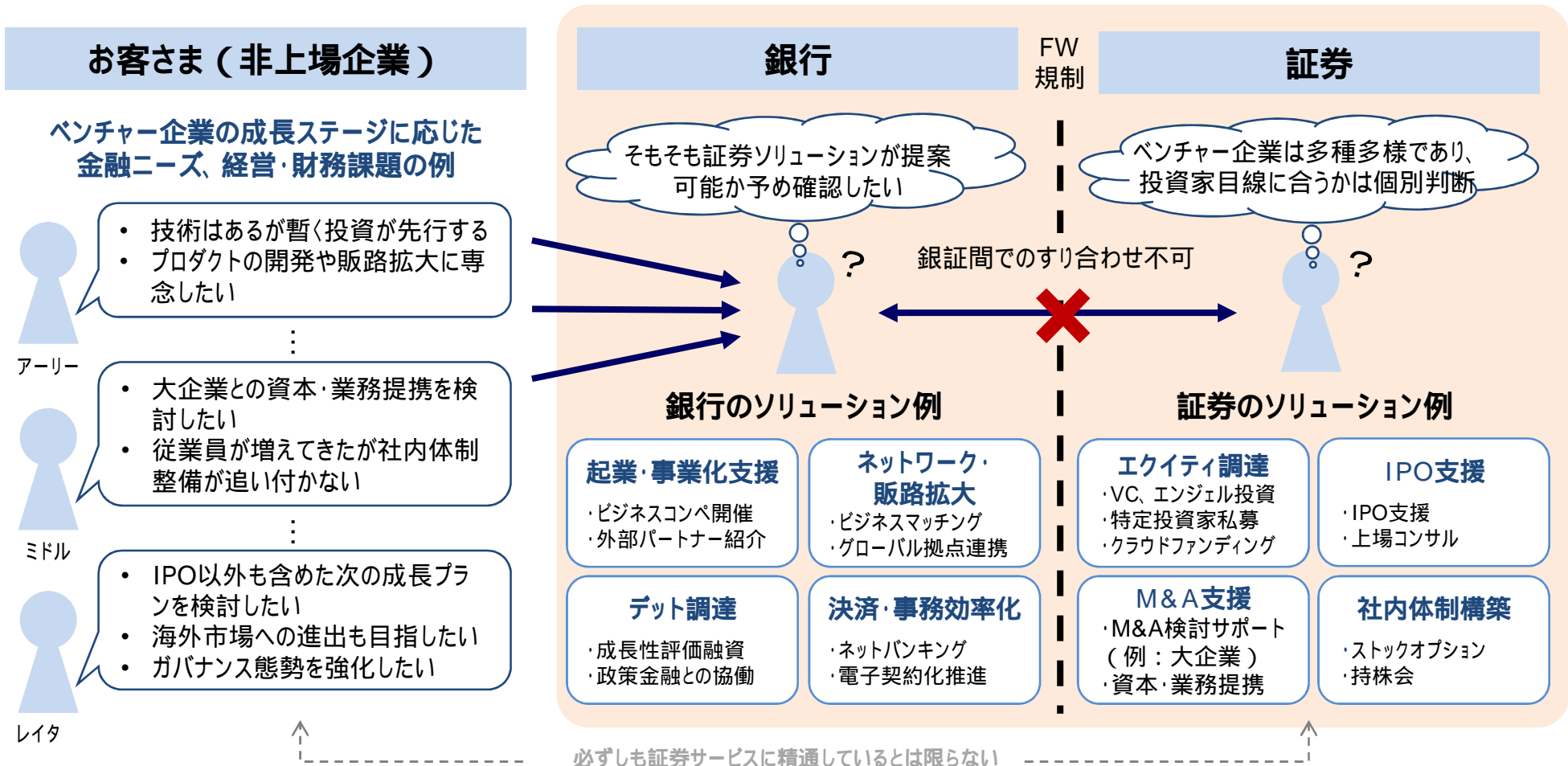
- 経済成長の成果の家計への還元を促し、家計の安定的な資産形成を実現
- お客様の課題：銀証連携に係る手続き上の負担の軽減、等

➡ お客様がシームレスかつワンストップに金融グループの商品・サービスを体験できる環境を実現したい

「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」の実現

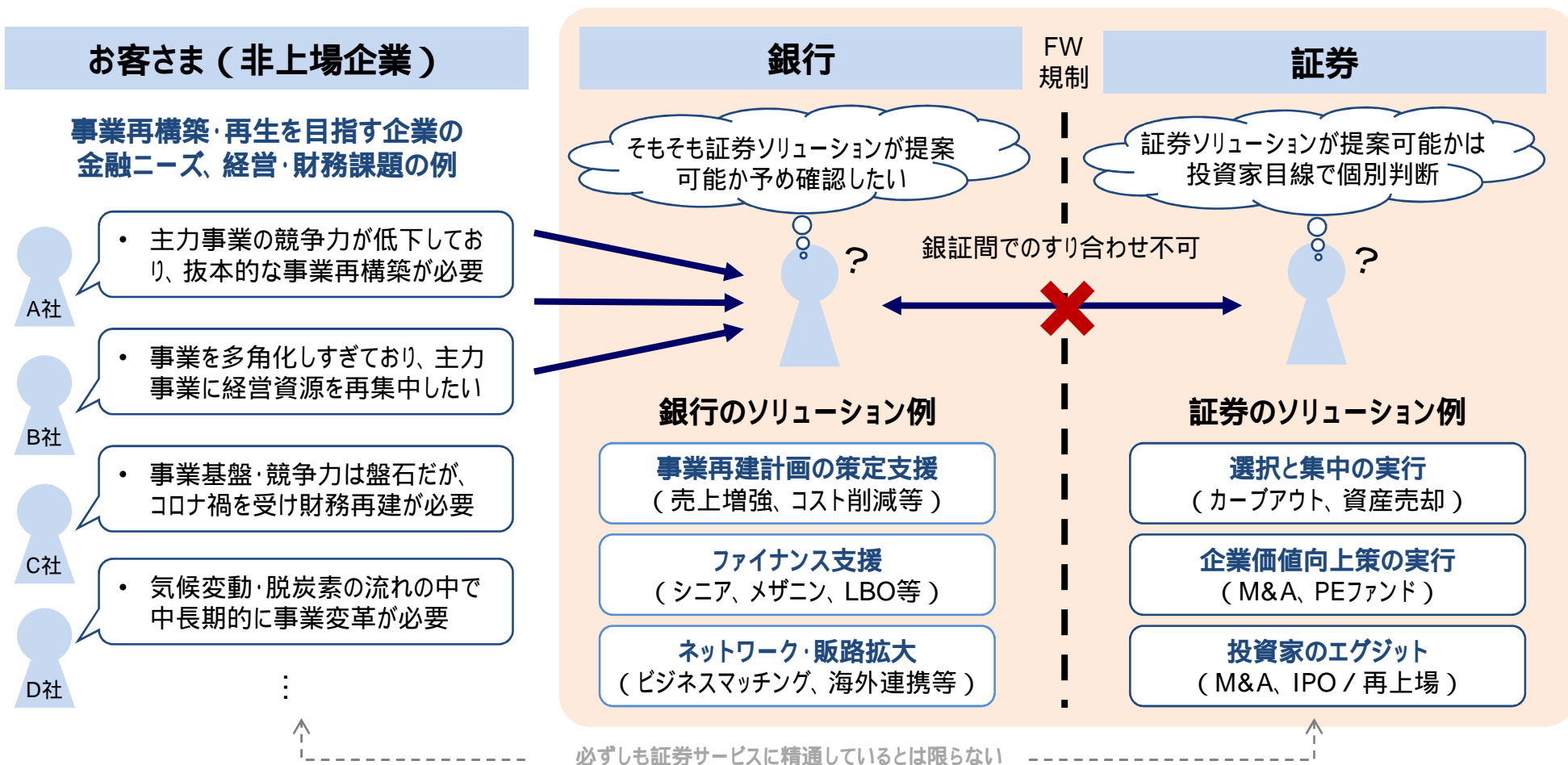
2. 【事例1】スタートアップに係る論点

金融グループとして、スタートアップの成長ステージに応じた多様な金融ニーズや経営課題・財務課題に応えるための情報授受規制のあり方



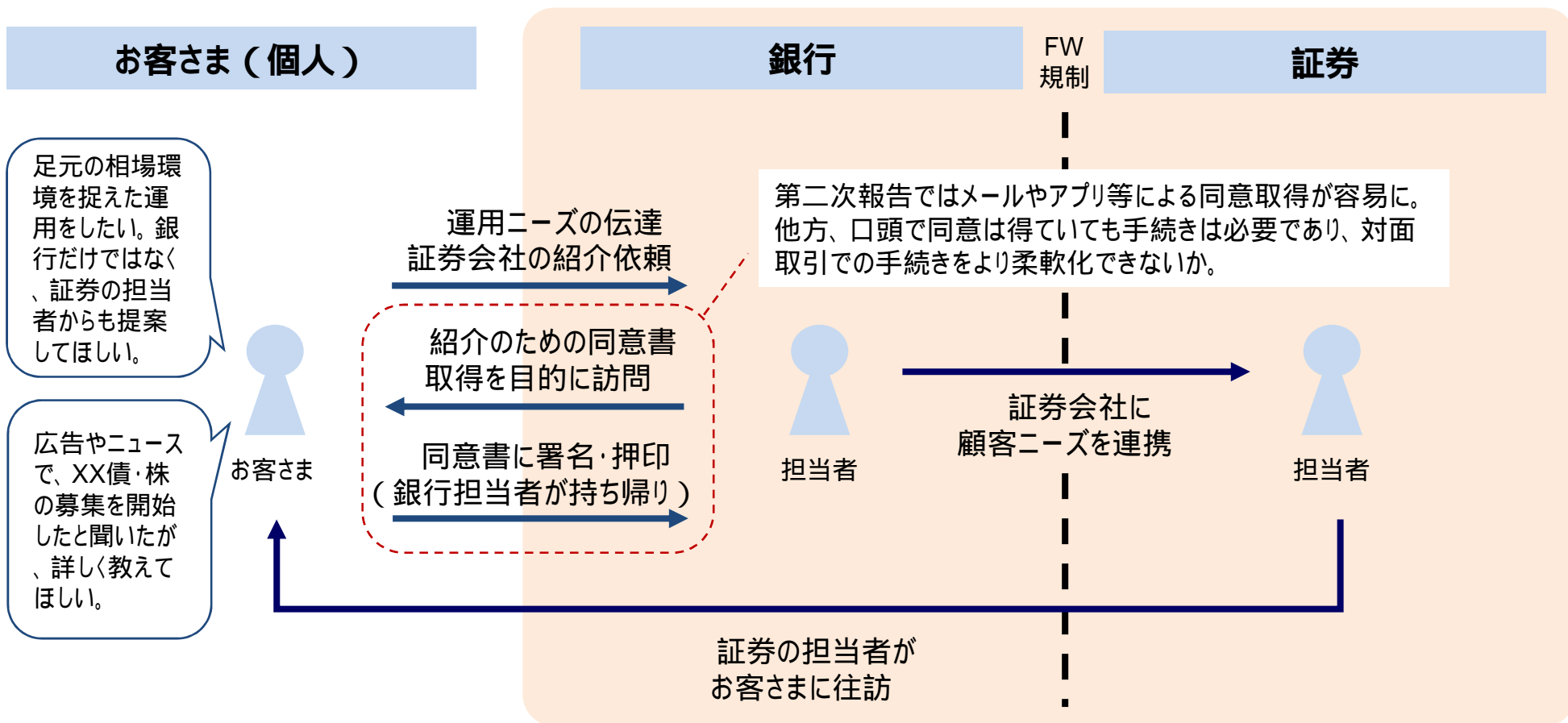
2. 【事例2】 事業再構築・再生に係る論点

事業再構築・再生を目指すお客さまの難易度の高い金融ニーズや経営課題・財務課題に金融グループ一体で解決策を提案するための情報授受規制のあり方



2. 【事例3】個人の資産形成に係る論点

経済成長の成果の家計への還元を促し、家計の安定的な資産形成を実現していくために相応しい情報授受規制のあり方



() 図表は第2回金融審議会・市場制度ワーキング・グループ「全国銀行協会資料」を規制の見直し踏まえアップデートしたもの

2. 【事例4】エンジェル投資家に係る論点

銀行のお客さまであるベンチャー企業や地元企業と証券会社のお客さまであるエンジェル投資家とをマッチングするために相応しい情報授受規制のあり方

お客さま（エンジェル投資家）

良い投資先があれば投資したい

意欲的なベンチャー経営者を応援したい



参考 個人投資家・エンジェル投資家による非上場企業投資の枠組み

特定投資家私募

株主コミュニティ制度

投資型クラウドファンディング

証券

FW
規制

銀行

銀行のお客さまに紹介したいが
そもそもどのような投資先があるのか

?

銀証間でのすり合わせ不可



ニーズのあるお客さまを紹介したい
がそもそもどのような投資家が

?

銀行と比較して証券会社と取引のある非上場企業は少ない

非上場企業のお客さま
(ベンチャー・地元企業等)

応援してくれる投資家がいれば、
紹介して欲しい、話を聞いてみたい

非上場企業のお客さま
(ベンチャー・地元企業等)...

2. 【事例5】外務員資格登録に係る論点

兼職者が、証券会社社員として証券外務員登録を行った場合、銀行の登録金融機関業務であるヘッジニーズに対応するデリバティブ取引等の勧誘・販売等が不可となる

